

民生常任委員会報告

本委員会での審査の経過の中で、委員から出された質疑、意見等と結果を報告する。

○不知火町図書館周辺ウォーキングコース整備工事について

（不知火町国民健康保険特別会計）

約3千万円支出されている。福祉・予防の面から見れば良いことであるが、本来、国保会計は医療費を支出するための会計であり、他の会計で対応すべきではなかったかという質疑と、基本的には国保税の1割以上保健事業を行うことになっている点で、「攻めの予防」の一つのモデルとして成功ではなかったかという意見があった。

○衛生組長委託料について（三角町一般会計）

三角町独自のもので、嘱託員と重複する点もあり、行政効果から今後見直しが必要である。



健康づくりに活用しましょう
(不知火町ウォーキングコース)

○合併処理浄化槽の設置補助について（宇城市一般会計）

補助対象区域と負担割合を明確にし、公共下水道事業、農業集落排水事業とあわせて計画的に進めるべきである。

○介護保険料の収納状況について（宇城市介護保険特別会計）

無年金者等に若干滞納が生じているので、制度をよく説明し、収納率向上を図るべきである。

なお、審査を通じて次の3項目の意見を集約し、当議会の意見として関係執行当局に申し入れた。

一 各種税、保険料及び保育料の滞納徴収対策に、さらに取り組むべきである。

二 医療費及び介護給付費の増加を防ぐため、予防対策にさらに取り組むべきである。

三 宇城市としての次世代育成支援行動計画を早急に策定すべきである。

以上、本委員会の審査の報告とする。

文教常任委員会報告

本委員会に付託された決算の審査について、その経過と結果を報告する。

学校教育課では「ALT（注1）とTT（注2）の配置状況はどうなっているか」との質疑に対し、「平成17年度はALT6名、市単独事業として小学校の英語教育のために非常勤講師を2名配置している。TTの配置については、県が少数加配をしていない海東小学校、小野部田小学校、松合小学校、青海小学校に市独自で配置している」との答弁でした。

生涯学習課では「図書購入する場合、どういった点に注意して購入するのか」との質疑に対し、「各町がそれぞれ予算を計上したので購入費に違いがある。平成18年度はネットワークが構築されるので、重複した本の購入もなくなる。それぞれの図書館で購入計画を作っているの、それに沿うような取り組みをしたい」との答弁があった。

文化課の決算については、不知火美術館の絵画購入等について質疑があり「審議会専門委員会を検討して購入している。平成16年度

は525万円分購入。その内訳は、マナブ間部さんの作品が7点、横山博之さんの作品が1点となっている」との答弁があった。

質疑終結後、討論に入ったが討論はなかった。

採択は全員賛成で、付託された決算は認定することと決定した。なお、本委員会の集約した意見は次のとおり。

一 ウイングまつばせをはじめとする教育委員会所管の各施設の委託料については、検討を行い、削減するよう努めるべきである。

これを、議会の意見として関係執行当局に申し入れることが適当であると決定した。

以上、当委員会の審査の報告とする。

（注1）アシスタント・ランゲージ・ティーチャーの略。外国人指導助手。

（注2）ティーム・ティーチングの略。複数の教師で指導をし、児童生徒の理解を高める指導方法。



右山 剛 議員

アスベスト問題について

問 アスベスト対策の基本方針についてお尋ねする。

市長 今年8月にアスベスト対策委員会を立ち上げ、



野田 寛 議員

浄水寺遺跡について

問 豊野町下郷にある浄水寺遺跡は、今から約千二百年前、奈良時代末期に創建された古代寺院の跡である。

①実態を把握すること、②住民の不安に対応すること、③被害を出さない、拡大させない対応をすること等を基本方針にしている。

問 聞き取り調査をする中でアスベスト被害者が広範囲におられることがわかる。胸膜肥厚の有所見者の率は、松橋町8・4、不知火町2・0、小川町3・7、豊野町2・3であり、この率を他町に比べてみるとかなりの高率であることがわかる。ちなみに、宇土市1・0、山鹿市0・4、矢

特に重要なのは4基の古碑（石碑）であり、学術的にも大変貴重な文化財として全国に知られている。旧豊野町では国指定文化財を目指して、予算もつけ、立派な報告書も作り取り組んできた。なぜ指定が遅れているのか。教育委員長 浄水寺の石碑については、歴史資料のうちの古文書にあたり、提出した報告を基に文化庁で審議されているので、その審議を待つかない。これから市としても、検討委員会やシンポジ

部町0・2となっている。松橋住民だけでなく、市全体のアスベスト検診を目的とした検診が急がれると思う。健康調査及び検診を実施される考えはあるのかお尋ねする。

市長 市として、当然取り組みなければならぬことだと思うが、財政的支援、スタッフ、いろんな諸条件が必要である。県に対して、胸膜肥厚の健康管理システムの再整備、そして全国どこでも検診が無料で受けられる体制整備を要望してい

ウムを開催し、浄水寺を広くアピールして、国指定に向けて努力してまいりたい。

問 市長は、菅ヶ丘公園を中心に周辺を整備し、環境教育に取り組まれるというが、併せて浄水寺遺跡の整備を含め、歴史を学ぶ遊歩道の整備は考えられないか。

市長 萩尾溜池、中の池、鑑ヶ池の三つの溜池と浄水寺を含めた公園化構想について、専門家や景観プランナーにお願ひし、計画を来年度から検討したい。

宇城市国際理解教育特区について

問 教育特区の認定を受け、来年度からの実施に向けて取り組むというが、国際理解教育特区とはどのようなもので、どう取り組むのか。

市長 現在、総務省と打合せを進めており、宇城市の伝統食文化や食育についての教育、外国語が話せる宇城市民を目指した外国語教育、姉妹都市との交流教育を目標としている。具体的

る。議員のご提案、前向きに取り組ませていただきたい。

問 アスベストは3千種類の製品や利用資材として私たちの身の回りがあると指摘されている。特に建築関係には防音材、断熱材、絶縁材として利用されている。自宅や周辺の建物、公共施設などで使用されているかもしれないという市民の不安を解消していく対策をお尋ねする。

市長 早急な撤去や補修を必要とする施設については、

早急に対応していく考えであり、本定例会にそのための調査費をお願いしているところである。撤去や補修の対策基準や費用の財源区分が確立されていないので、県に財政支援等の要望をしており、市有施設以外の施設についての連携も緊密に行うこととしている。

問 専門家を招いて講演会、説明会の計画はないのか。

市長 講演会方式か説明会方式か、十分検討し、何らかの形で実施したい。

には、地域の伝統文化や食文化に関する体験学習等を行いながら、カリキュラムを総合的な学習の時間に位置づけていく。外国語については、幼保・小中一貫教育による会話力の充実を図る考えである。近年、特に中国の経済発展がめざましく、市でも経済浮揚のため、将来中国との交流が高まると考え、中国語教育を取り入れて、中国との交流や日本企業で働くことのできるような人材育成を目指したい。